

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは主としてブラジルの債券に実質的に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。当期におきまして、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBS
ブラジル・レアル債券投信
(年2回決算型)

追加型投信／海外／債券

第36期（決算日2026年5月20日）
作成対象期間（2025年11月21日～2026年5月20日）

第36期末（2026年5月20日）	
基準価額	21,639円
純資産総額	4,221百万円
騰落率*	12.4%
分配金合計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く)<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2026。キーンシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

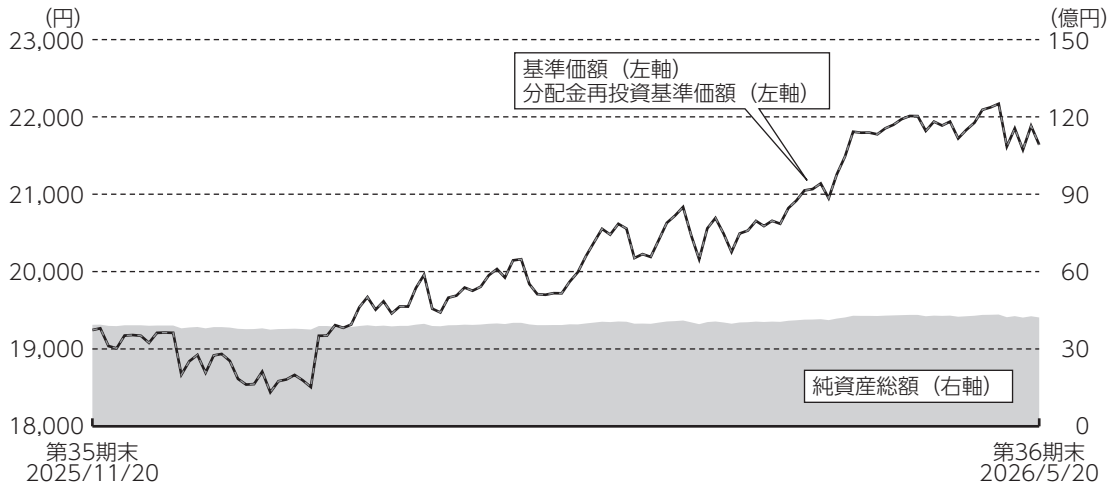
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

（2025年11月20日～2026年5月20日）



第36期首：19,245円

第36期末：21,639円（既払分配金 0円）

騰落率：12.4%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、組入マザーファンドの良好なパフォーマンスを反映して上昇しました。マザーファンドにおいては、組入保有債券からの利金収入に加え、為替市場におけるリアル高・円安の進行が、基準価額の上昇に寄与しました。

1万口当たりの費用明細

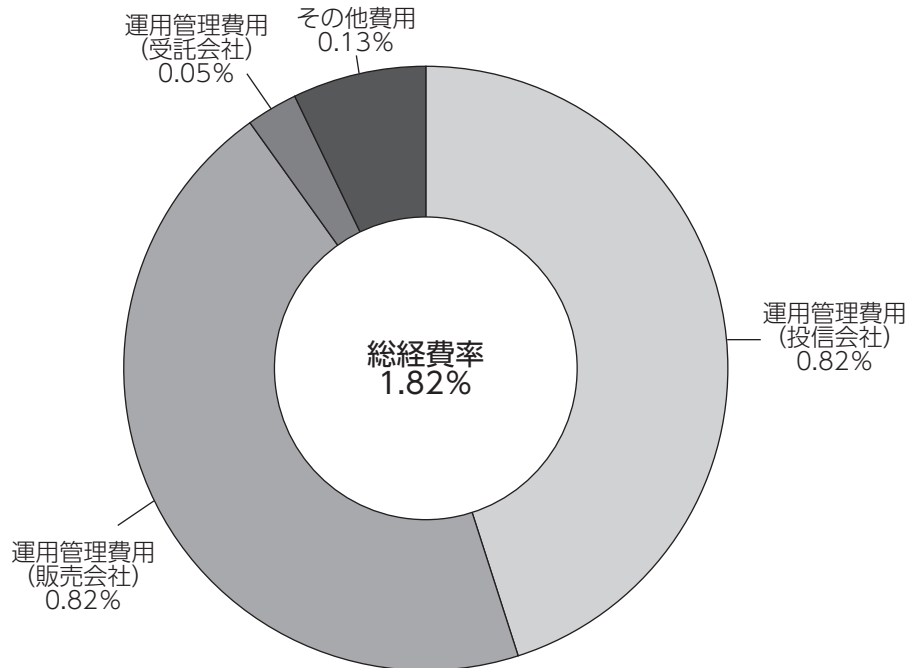
項 目	当期 2025/11/21～2026/5/20		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	170円	0.845%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は20,086円です。
（投信会社）	（ 82）	（0.409）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 82）	（0.409）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 5）	（0.027）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	13	0.063	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 9）	（0.044）	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	（ 1）	（0.007）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（ 2）	（0.011）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（ 0）	（0.000）	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	183	0.908	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報） 総経費率



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注2) 各比率は、年率換算した値です。

(注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注4) 上記の費用には、マザーファンドが支払った費用を含みます。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

（2021年5月20日～2026年5月20日）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2021年5月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年5月20日 期初	2022年5月20日 決算日	2023年5月22日 決算日	2024年5月20日 決算日	2025年5月20日 決算日	2026年5月20日 決算日
基準価額 (円)	9,296	12,210	14,368	17,421	15,813	21,639
期間分配金合計（税込み） (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	31.3	17.7	21.2	△ 9.2	36.8
純資産総額 (百万円)	4,816	4,654	4,052	4,027	3,361	4,221

(注) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または期初からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

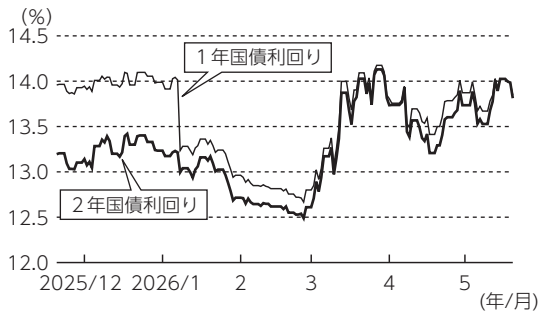
※当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

投資環境について

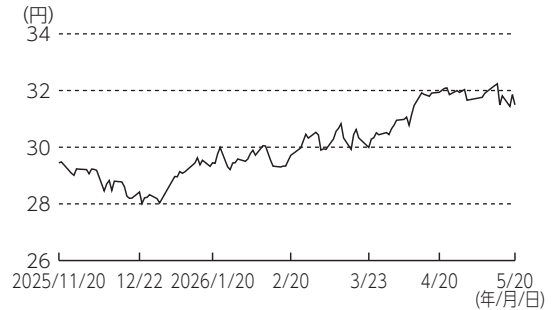
ブラジル・リアル建て国債利回り（以下「国債利回り」）は上昇（債券価格は下落）しました。2026年2月末の米国・イスラエルによるイラン攻撃をきっかけとした中東情勢の緊迫化と原油価格の上昇が、インフレ圧力を高めるとの懸念から、ブラジルを含め世界的に債券への売り圧力が強まりました。

ブラジル・リアルの対円相場は上昇しました。高市政権による積極財政が財政悪化につながるとの警戒感に加え、原油高の進行が資源国通貨の追い風となったこともあり、ブラジル・リアル高が進みました。

ブラジル・リアル建て国債市場
＜ブラジル国債利回り＞



ブラジル・リアル／円レートの推移



出所：LSEGのデータをもとに当社作成

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてブラジル・レアル建債券に実質的に投資を行いました。なお、マザーファンド受益証券への投資比率は、期を通じて高位を維持しました。

マザーファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・レアル建債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行いました。

債券種別構成においては、インフレ連動債の比率を引き下げた一方で、国庫金融債の組み入れを引き上げました。ポートフォリオ戦略では、デュレーション*については期末現在において、期初比で概ね同水準としました。

*デュレーションとは、金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示した感応度です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当期は、市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり・税引前）

項 目	第36期
	2025年11月21日～2026年5月20日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	（ － ％）
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	16,706円

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドの今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持します。

マザーファンドの今後の運用方針

主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行するブラジル・リアル建債券に投資し、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

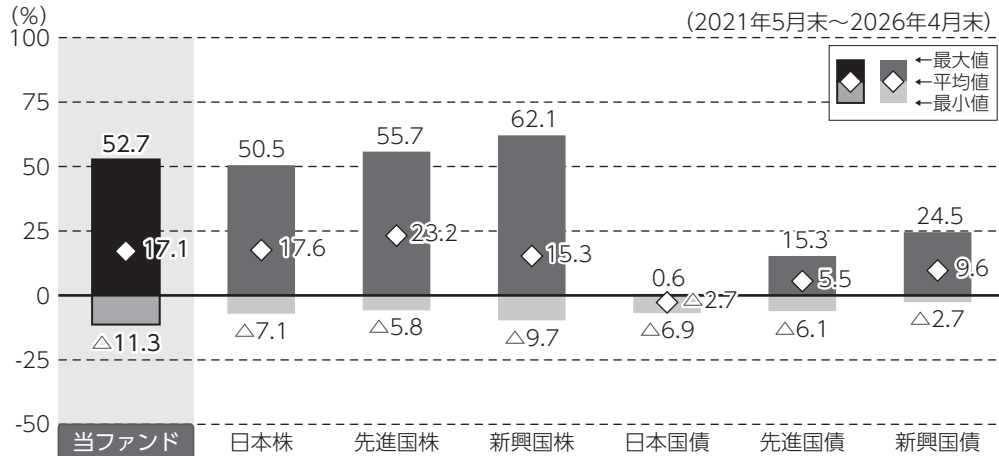
2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	信託設定日（2008年7月17日）から2028年11月20日まで	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてブラジルの債券に実質的に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド ＜UBSブラジル・レアル債券投信（年2回決算型）＞	UBSブラジル・レアル債券マザーファンドを主要投資対象とします。
	マザーファンド ＜UBSブラジル・レアル債券マザーファンド＞	ブラジルの政府、政府機関もしくは企業等の発行する現地通貨建債券を主要投資対象とします。
運用方法	ベビーファンド ＜UBSブラジル・レアル債券投信（年2回決算型）＞	投資成果を、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行います。 実質外貨建資産については、原則として円に対する為替ヘッジを行いません。
	マザーファンド ＜UBSブラジル・レアル債券マザーファンド＞	投資成果を、ブラジル債券市場の動向に概ね連動させるように運用を行います。 外貨建資産については、原則として円に対する為替ヘッジを行いません。 UBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシーに、運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（5月20日および11月20日、休業日の場合は翌営業日）に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の中から、委託者が市況動向等を勘案して収益分配金額を決定するものとします。ただし、委託者の判断で分配を行わないことがあります。分配にあてなかった利益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- *全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- *2021年5月から2026年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- *騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- *騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

(2026年5月20日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：1銘柄）

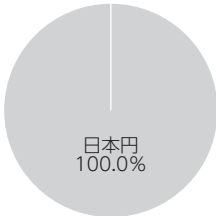
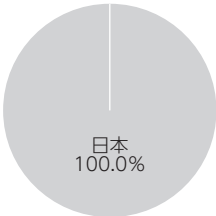
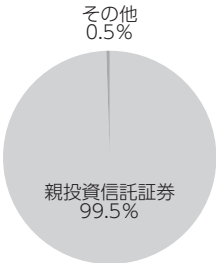
銘 柄	比率（%）
UBSブラジル・レアル債券マザーファンド	99.5

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分

国・地域別配分

通貨別配分



（注1）「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

（注2）組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」でご覧いただけます。

純資産等

項 目	第36期末 2026年5月20日
純資産総額	4,221,951,833円
受益権総口数	1,951,097,367口
1万口当たり基準価額	21,639円

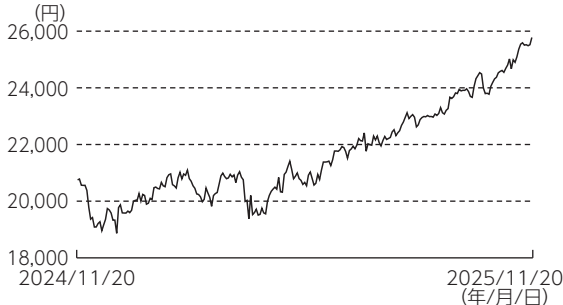
（注）当期（第36期）中における追加設定元本額は2,123,216円、同解約元本額は95,701,543円です。

組入上位ファンドの概要

（2025年11月20日現在）

◆UBSブラジル・リアル債券マザーファンド

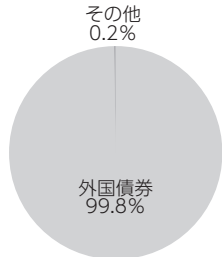
基準価額の推移（2024年11月20日～2025年11月20日）



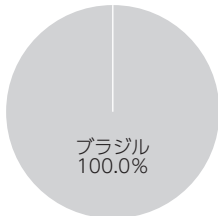
組入上位10銘柄（銘柄数：20銘柄）

銘柄名	種別	国／地域	比率(%)
BRAZIL-LFT 0% 2027/9/1	国債	ブラジル	10.6
BRAZIL NTN-F 10% 2031/1/1	国債	ブラジル	9.6
BRAZIL-LFT 0% 2026/3/1	国債	ブラジル	9.2
BRAZIL-LFT 0% 2028/9/1	国債	ブラジル	8.7
BRAZIL-LFT 0% 2029/9/1	国債	ブラジル	8.3
BRAZIL NTN-F 10% 2027/1/1	国債	ブラジル	7.2
BRAZIL-LFT 0% 2030/9/1	国債	ブラジル	6.4
BRAZIL NTN-F 10% 2029/1/1	国債	ブラジル	6.4
BRAZIL-LFT 0% 2029/3/1	国債	ブラジル	5.5
BRAZIL-LFT 0% 2027/3/1	国債	ブラジル	4.6

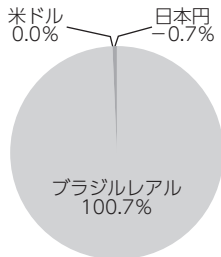
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



（注1）「基準価額の推移」はマザーファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はマザーファンドの直近の決算日現在のものです。

（注2）「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率はマザーファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

（注3）「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。

（注4）組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2024/11/21～2025/11/20	
	金額	比率
その他費用	18円	0.083%
（保管費用）	(18)	(0.082)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	18	0.083

※期中の平均基準価額は21,475円です。

（注1）「1万口当たりの費用明細」は、マザーファンドの直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

（注2）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注3）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

※当マザーファンドの運用経過につきましては、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。